

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年8月13日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 84
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～平和への願いを込めて～

8月9日 長崎原爆の日 平和学習と平和集会を行いました。



平和集会を前に、「平和ナガサキ」をもとに、当時の長崎を振り返る学習をする学年や先生の話聞きながら、平和について考える学年など、学年に応じてみんなで考えました。



各学級の黒板には、子供たちが平和について考えることができるように、担任の先生からのメッセージが記されていました。



児童玄関前のロビーには、一年生が描いた平和ポスターを飾り、スマイル学級の子供たちが制作し、平和への願いを込めた絵や文字を記したピースキャンドルを飾りました。



平和集会のスタートは、5年生による平和学習の発表です。5年生が班に分かれて各学級に行って発表しました。



原子爆弾のことや当時の長崎の様子について学習したこと、平和について考えたことなどを発表しました。

ご存じのとおり、長崎市では5年生が原爆資料館などに足を運び、平和学習を行い、事前事後の学習を通して、平和への思いを深めます。

一人一人が当事者意識をもち、平和についてそれぞれの考えをもち、実践していきます。

畝刈小学校は、子供が主語・子供が主役

「子供と真ん中」の学校

「豊かな心をもち、自ら考え行動する子供たち」を支えています。